信州公衆衛生学会総会一般演題抄録投稿規程

原稿の募集

1. 信州公衆衛生学会総会に一般演題を発表される方は、抄録の提出をお願いします。発表者（著者）は、連名者を含め全員本学会会員に限ります。
2. プログラム作成の都合上、口演発表・ポスター発表ではなく、誌上発表のみの場合もあります。
3. 原稿は、和文のみとし、本文・図表・文献を含めてA4用紙で2枚、マイクロソフト社のWordで作成し、フォーム入力、e-mailもしくは磁気媒体（USB、CD-R）にて事務局へ提出してください。
4. カラーの図表は、不可です（印刷は、白黒になります）。
5. 原稿の採否は、編集委員会で査読後、決定し、書き直しをお願いすることがあります。

執筆要領

1. 表題、著者名、所属機関名、キーワード（5語以内）、要旨（250字程度）、本文、文献の順としてください。原稿は、横書き、新かなづかいとし、算用数字、SI単位を基本とする単位（m、cm、mℓ、dℓ、g、kg、秒、分等）を使用してください。フォントは、MS明朝体を使用し、サイズは、表題のみ12ポイント太字、他は、全て10.5ポイント標準としてください。また、本文以下は、2段組みとしてください。
2. 本文は、目的、方法、結果、考察、（謝辞）とし、簡潔で平易な文章としてください。
3. 図表の数は、枚数内に収まれば制限を設けませんが、できるだけ簡潔なものとしてください。
4. 文献は、5個以内とし、引用した箇所の右肩に番号を付し、引用順に記載してください。雑誌名は、医学中央雑誌およびIndex Medicusに従った略記とし、

   雑誌は、著者名：表題．誌名 巻：始項-終項．発行年．

   著書は、著者名：表題．書名（編集者）．始項-終項．発行所．発行年．

   の順に記載してください。著者は、最初の3名以内とし、それ以上は「他」、「et al.」としてください。

（例）

1)久保田美穂，柳沢茂，佐々木隆一郎，他 ： 結核化学予防の服薬状況に関する一考察 ―結核集問感染事例の調査結果から―．日本公衛誌 50 ： 605-612．2003.

2)Sasaki R, Sakurai R, Aoki K, et al. ： Cohort study on association of malignant neoplasms among the pulmonary tuberculosis patients in Nagoya TB Registry. J Epidemiol 2（Supple） ： 89-95. 1992.

3)佐々木隆一郎 ： スクリーニング．疫学（日本疫学会）．pp.151-162．南江堂．1996.

倫理規程

疫学研究に関する倫理指針（平成14年6月17日、文部科学省・厚生労働省）、人体を対象とする場合は、ヘルシンキ宣言に基づいた科学的および倫理的規範、動物を対象とする場合は、動物愛護の精神に基づくことが必要です。研究によっては、所属施設の倫理委員会またはこれに準じたものの承認が必要となります。

公開範囲とライセンス、著作権

学会総会の一般演題抄録は、有料（制限付き）アクセスとなります。

抄録の著作権は、信州公衆衛生学会に帰属します。

ライセンス確認

投稿者は、投稿時に著作権とライセンスの確認を行った旨の書面を提出します。

Presented by Medical*Online

抄録作成例

長野県における健康格差に関する研究
—その 3：長野県内の健康格差に関する要因の検討—

佐々木隆一郎（長野県飯田保健所）、古川善行（長野県厚生連伊那厚生病院）

キーワード：標準化死亡比、健康寿命、健康診断、喫煙率、民間禁煙ボランティア団体

要旨：長野県は平成 12 年度の平均寿命が男 78.9 年（1 位）、女 85.2 年（3 位）と国内有数の長寿県である。そこで長野県の健康長寿に関する要因を検討する一環として、長野県医療圏毎の全死因の標準化死亡比と各市町村で行われている健康診断から得られた資料とを用いて検討を行った。

その結果、全死因の標準化死亡比と現喫煙との関連が示唆された。また、長野県内の医療圏による喫煙率の差には、民間禁煙ボランティア団体の活動が寄与している可能性がうかがえた。

A. 目的

長野県内の健康格差を及ぼす要因について長野県内の 10 の二次医療圏別の特徴について検討し、長野県における健康寿命の要因を探る手がかりを得ることを目的とする。

B. 方法

1．死亡状況の検討

長野県内の二次医療圏別の死亡状況の検討には、人口動態統計資料に示された平成 5－9 年度と平成 10－14 年度の標準化死亡比を用いた。

2．健康要因の検討

平成 11 年度に長野県内の 120 市町村が行った健康診査（健診）の受診者について、平成 12 年度に長野県が調査を行った資料がまとめられている。この資料には 182,877 人についての結果が二次医療圏毎にまとめられている。この資料に含まれている情報は、健康診査時に得られた、性、年齢階級別の、高血圧、ヘモグロビン A_{1C}、総コレステロール、HDL コレステロール、肥満状況、喫煙、及び飲酒の状況等である。

3．検討方法

今回の検討にあたっては、二次医療圏による受診者の年齢構成の差を調整する目的で、長野県全体の年齢別の率を基礎に、全県を 1 とした調整異常比を計算した。また、各二次医療圏と全県の値の統計学的優位性の検討には 95%信頼区間を用いた。

なお、今回検討に用いた資料は、公表された資料であり、倫理面での問題はないと考える。

C. 結果

1．医療圏別標準化死亡比の特徴

表 1 に医療別の全死因による標準化死亡比を示した。

表 1．医療圏別全死因の標準化死亡比

医療圏		標準化死亡比（対県比）	
		平成 5-9	平成 10-14
佐久	男	90.2 (1.02)	89.8 (1.00)
	女	91.9 (0.98)	94.1 (0.99)
上田	男	89.7 (1.01)	88.5 (0.98)
	女	94.4 (1.00)	94.4 (1.00)
諏訪	男	86.7 (0.98)	87.3 (0.97)
	女	92.2 (0.98)	96.0 (1.01)
伊那	男	88.1 (0.99)	89.3 (0.99)
	女	93.7 (1.00)	96.0 (1.01)
飯田	男	84.3 (0.95)	89.1 (0.99)
	女	89.9 (0.96)	92.1 (0.97)
木曽	男	95.7 (1.08)	98.2 (1.09)
	女	90.2 (0.96)	90.8 (0.96)
松本	男	88.0 (0.99)	91.0 (1.01)
	女	96.6 (1.03)	95.2 (1.01)
大町	男	96.3 (1.08)	93.8 (1.04)
	女	99.2 (1.05)	96.1 (1.02)
長野	男	88.2 (0.99)	88.6 (0.99)
	女	95.4 (1.01)	93.9 (0.99)
北信	男	95.7 (1.07)	97.0 (1.08)
	女	94.5 (1.00)	98.3 (1.04)

（資料：人口動態保健所・市町村別統計）

今回検討した標準化死亡比をみると、平成 5－9 年度と平成 10－14 年度の二つの機関ともに、二次医療圏別の全死因の標準化死亡比は、全て

Presented by Medical*Online

信州公衆衛生雑誌投稿規程

1）投稿資格　本会会員に限る。共著の場合は、全員が会員であることを必要とする。

2）投稿原稿の種類　以下のとおりとする。

総説	研究・調査論文の総括及び解説
論説	公衆衛生活動、政策、動向など
原著	独創的な研究論文及び科学的な観察（他誌に未発表のもの）
短報	独創的な研究の短報または手法の改良・提起に関する論文
公衆衛生活動報告	公衆衛生活動に関する実践報告
症例報告	公衆衛生上有用な症例報告
資料	公衆衛生上有用な資料
会員の声	掲載論文に対する意見、海外事情、関連学術集会の報告など

3）投稿原稿の執筆要領

a）原稿の形式は、表紙、抄録（800 字以内、総説・論説には不要）、本文、文献、表、図の説明、図の順序とし、なるべく簡潔、平易な記述が望ましい。原稿には著者の判断により 200 語以内の英文抄録を付けることができる。英文抄録の構成は、和文抄録に準じ、専門家によるチェックを受けること。

b）用紙は、A4 判を用いる。マイクロソフト社の Word を用いて、横書き 1 行 25 字×32 行＝800 字を 1 枚とする。原稿作成時、行番号を各ページの左側に付ける。

c）表紙の記載順序は、投稿原稿の種類、和文題名、著者名、所属名・所在地、欧文題名、著者名ローマ字、所属・所在地欧文名、内容別索引作成に必要な Key words（5 個以内とし、欧文名と日本語名を記入する）、20 字以内のランニング・タイトル、本文総枚数、図、表の枚数、別刷希望部数とする。編集部への希望事項は、別紙に記入して添付する。

d）本文の項目分けは、次のようにする。

Ⅰ．…、A．…、1．…、a．…、(1) …。

e）書体と用語は、明瞭な字体で、口語体、ひらがな文で書き、なるべく日本医学用語委員会制定の用語を用い、十分推敲した原稿とする。句読点、括弧を正確に付け、1 字分として空ける。欧文で記載される原語は、欧文タイプで記入する。薬品名は、一般名を使用する。動物、植物、細菌などの学名は、2 命名法によってイタリック体で記載する。一般に略語として意味が通じるもの以外は、略語の使用は極力避ける。やむを得ず、略語を用いる場合は、最初に必ずフルスペリングを記載すること。

f）度量衡の単位は、原則として SI 単位を用い、次の例に準じ、符号の後に点を付けない。

（例）m　mm　μm　nm　ℓ　mℓ　μℓ　kg　g　mg　μg　mg/dℓ　ppm　℃　Bq　Gy　sec　min　hr

g）図・表は、刷り上がり 1 頁以内に収まるようにする。原寸大で印刷できるように写真等を組み合わせてセットされたものが望ましい。文字や印は、縮小、拡大を考慮してレタリング等で直接原図に入れる。挿入個所は、原稿の欄外に図 1、表 1 のように記載する。図表の中の文字、説明は、欧文でもよいが、長文の場合は、欧文校閲の必要性が生ずるので和訳を付すこと。顕微鏡写真の場合は、その倍率の記載に注意すること。原寸大で準備されていない場合は、縦横の対比に注意し、縮小された場合にもよく判読しうるように作製されていること。

h）引用文献は、引用した箇所の右肩に番号を付し、引用順に記載する。引用雑誌の略称は、欧文雑誌の場合、“INDEX_MEDICUS”に、和文雑誌の場合、医学中央雑誌に従った略記とする。

雑誌は　著者名：表題．誌名 巻：始頁-終頁．発行年．

著書は　著者名：表題．書名（編集者）．始頁-終頁．発行所．発行年．

の順に記載する。ただし、著者は、最初の３名以内のみとし、それ以上のときは、「他」または「et

Presented by Medical*Online

al.」とする。

（例）

1）久保田美穂，柳沢茂，佐々木隆一郎，他 ： 結核化学予防の服薬状況に関する一考察―結核集団感染事例の調査結果から―．日本公衛誌 50 ： 605-612. 2003.

2）Sasaki R, Sakurai R, Aoki K, et al. ： Cohort study on association of malignant neoplasms among the pulmonary tuberculosis patients in Nagoya TB Registry. J Epidemiol 2 (Supple) ： 89-95. 1992.

3）佐々木隆一郎 ： スクリーニング．疫学（日本疫学会）．pp.151-162. 南江堂. 1996.

i）倫理規程　疫学研究に関する倫理指針（平成 14 年 6 月 17 日、文部科学省・厚生労働省）、人体を対象とする場合は、ヘルシンキ宣言に基づいた科学的及び倫理的規範、動物を対象とする場合は動物愛護の精神に基づくことが必要である。研究によっては、所属施設の倫理委員会またはこれに準じたものの承認が必要となる。

j）利益相反　本学会の医学研究の利益相反（Conflict of Interest ： COI）に関する指針に基づき、本文の最後に下記の例に従い、記載すること。

「本研究は○○の資金提供を受けた。」

「○○の検討にあたっては、○○から測定装置の提供を受けた。」

「利益相反なし。」

4）原稿の採否　投稿原稿の採否と掲載順序の指定は、編集委員会において決定する。論文は、２名以上の編集委員（必要に応じて編集部が適当と認めた者を含める）によって査読され、論文内容の加除訂正を求めることがある。

5）校正　校正は、初校のみ著者が責任をもって行う。校正に際して原文の変更あるいは追加を認めない。

6）別刷　希望者は、各自、pdf を印刷する。

7）掲載料　すべて無料とする。

8）原稿の送り先　公式ホームページの雑誌投稿ページの投稿フォームから提出する。投稿フォームから送信できない場合は、（〒390-8621）松本市旭 3-1-1　信州大学医学部　衛生学公衆衛生学教室内 信州公衆衛生学会事務局　s_kouei@shinshu-u.ac.jp　にメールにて送付する。メールが使えない場合は、持参または郵送とし、原稿にコピー２部を添付する。

9）公開範囲とライセンス　論文は、オープンアクセスとし、ライセンスは、CC BY-NC-ND（表示-非営利-改変禁止）とする。

10)ライセンス確認　投稿者は、投稿時に著作権とライセンスの確認を行った旨の書面を提出する。

11)信州公衆衛生学会総会一般演題抄録　　信州公衆衛生学会総会一般演題抄録は、本規程にかかわらず別に定める信州公衆衛生学会総会一般演題抄録投稿規程による。

令和 6 年 4 月 11 日最終改定

信州公衆衛生学雑誌掲載著作物に関する著作権規程

本誌に掲載された論文等の著作権、複製権及び公衆送信権（送信可能化権を含む）に係わる権利等は、信州公衆衛生学会に帰属します。

Presented by Medical*Online

信州公衆衛生雑誌 論文投稿前のチェック表

この表にチェックを付け、原稿に添えて投稿して下さい(Word ファイルか PDF ファイルのどちらでも可)

	投稿規程	チェック内容
□	4)-a)	原稿の構成が、表紙、抄録、本文、文献、表、図の説明、図の順となっているか
□	4)-c)	表紙に、投稿原稿の種類、和文の題名、著者名、所属名、住所、欧文の題名、ローマ字の著者名、所属欧文名、住所欧文名、キーワード(日本語名と欧文名)、ランニングタイトル、本文総枚数、図表の枚数、別刷り希望部数を記載したか
□	4)-c)	キーワードは 5 個以内か、ランニングタイトルは 20 文字以内か
□	4)-a)	抄録は 800 字以内か
□	4)-b)	本文にページ、行番号を入れたか、行間は double space か
□	4)-d)	本文の項目分けは、投稿規程に沿っているか
□	4)-h)	文献の引用の仕方は正しいか(投稿規程に沿っているか)
□	4)-g)	図表の構成(大きさ、文字の解像度、挿入箇所の明示等)は投稿規程に沿っているか
□	4)-i)	ヒトを対象とした研究の場合、本文中に研究倫理審査を受けた事を記載したか 研究倫理審査を必要としない場合は、以下にその理由を付すこと ( )
□		研究遂行や論文作成に関わる全ての助成、経済的支援等について謝辞に記載したか
□	4)-j)	本文の最後に利益相反の有無について明示したか
□		信州公衆衛生雑誌に記載された論文等の著作権、複製権および公衆送信権に係る権利等は、信州公衆衛生学会に帰属する事について同意したか
□	9)	コピーを 2 部添付したか(郵送の場合)

■「チェック表」(word)が、本学会のホームページからダウンロードできます。
信州公衆衛生学会ホームページ： https://ssph.jp

Presented by Medical*Online

著作権譲渡契約書 Copyright Transfer Agreement - SSPH

論文管理番号	MS000	誌 名	信州公衆衛生雑誌
論文題名			
著者（共著者含む）			

信州公衆衛生学会（以下「本会」）は、以下の条件に基づき『信州公衆衛生雑誌』への掲載をいたします。

著者は、以下の権利のほか、これに限定されない論文のすべての著作権および権利を本会に譲渡します。

1) 補足資料を含む記事をあらゆる形式およびすべてのメディアで（現在または将来いつでも）公開、配布、コピー、表示、保存、商業的利用、およびその他の方法で使用すること。
2) 本条に基づく翻訳、抜粋又は二次的著作物を作成し、当該翻訳、抜粋又は派生物において 1) に定めるすべての権利を行使すること。
3) 1)および 2)の全部または一部を行うために他者にサブライセンスを付与すること。

著者は、以下を保証します。

A) 本契約に署名する著者は、すべての著者から本契約を締結する権限を与えられています。
B) この論文は、オリジナルかつ未発表であり、他誌等への掲載は、検討されていません。
C) 著者は、論文の著作権の唯一の著者および唯一の所有者であり、論文は、既存の著作権またはその他の第三者の権利を侵害しません。他の情報源からの資料が論文に含まれている場合は、適切な許可が得られ、本契約に添付して提出します。
D) 論文の作成にはその完全性、提示された事実が真実かつ正確であること、および、記事のいかなるものもわいせつ、中傷的、名誉毀損的ではなく、プライバシーの権利を侵害するものがないことを保証するために十分な注意が払われています。

本規約は日本の法律に準拠し解釈します。

本会は、以下に示したクリエイティブコモンズライセンスの下で本誌及び論文を公開します。

CC BY-NC-ND 4.0（表示-非営利-改変禁止 4.0 国際）ライセンス
このライセンスは、同じ条件でクレジットされている限り、誰でもダウンロードして共有することを許可しますが、いかなる方法でも変更したり、商業目的で使用したりすることはできません。（詳細は http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/）

なお、学会総会の一般演題抄録については、有料（制限付き）アクセスとして公開します。

著者は上記全てを同意した上で署名を行います。

署名（筆頭または責任著者） .....
署名著者の氏名を活字入力ください .....
住所.....
日付 .....

[信州公衆衛生学会 Shinshu Society of Public Health]
学会事務局: 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部 衛生学公衆衛生学教室
Tel: 0263-37-2622 **Fax:** 0263-37-3499

SSPH_CTA-CC-BY-NC-ND 202403

Presented by Medical*Online